

行雲流水

No.9 6 令和3年9月14日発行

事故の未然防止で、安心安全な生活を その1

校長 寒河江 正人

県警本部と県内各警察署の「**110ネットワーク**」に登録しているので、スマホに毎日・随時、メールが配信されてくる。

多いのは、**詐欺**、**不審者事案**、**交通事故・交通違反の未然防止**などの情報である。

「ええっ？ こんなに多いの？」と、驚かされるほど多い。

生徒諸君が暮らしている生活圏内には、多くの「**危険**」が潜んでいるのかもしれない。
だからこそ、**慣れた登下校の途中や休日であっても、決して油断してはならない。**
正しい「知識」と「判断力」、「実践力」を身につけなければ、自分の身は守れない。

まず、「**不審者事案**」から自分の身を守ろう。

狙われているのは、**圧倒的に女子児童・生徒が多い**ので、気を付けて欲しい。

だからといって、男子の生徒諸君が安全とは必ずしも言えないので、油断しないこと。

不審者の「**手口**」は、実に多種多様だから、気を付けよう！

「道を聞くふりをして、車に乗るよう誘われる。」

「送っていくと言って、車に乗るように誘われる。」

「荷物をもってあげると言って近づいてくる。」

「写真を撮られる。」

「後をつきまどわれる。」 などなど……。※すべて実際に発生している事案です。

あなたが、**「変だな。」「怪しいな。」「怖いな。」**と感じたのならば、**迷ってはいけない。**

「どうせ、大丈夫だろう。」などと、決して、**過小評価をしてはいけない。**

① **まず、その場を離れ、「自分の身の安全を確保」すること。**

② **近くの人や商店・民家に「助けを求める」こと。**

③ **すぐ警察署・交番などに知らせる。近くの大人のの人に電話してもらうこと。**

不審者の特徴：性別、およその年齢、身長・体型、髪型、衣服・着用物、車（車種・No.）など、わかる範囲で構わない。

※ただし、**自分の身の安全確保が大前提。**決して危険を冒してはならない。

行雲流水

No. 9 7 令和3年9月14日発行

事故の未然防止で、安心安全な生活を その2

校長 寒河江 正人

もう一つ、気をつけて欲しいのは、「**登下校時の交通事故の未然防止**」だ。

生徒諸君が利用する「**自転車**」は、便利な乗り物だ。

だが、中高生の「**自転車**」と「**車**」「**自転車**」「**歩行者**」による「**接触・衝突事故**」が多い。
使い方・乗り方しだいで、便利な乗り物は、**危険な乗り物**にもなり得るのだ。

また、事故の相手は、「**大人**」とは限らない。

君たち中学生よりも「**小さい子ども**」の場合も、「**高齢の方**」の場合もあるのだ。

さらに、事故は、君たちが「**被害者**」になる場合ばかりとは限らない。

自転車は、「**軽車両**」だ。君たちが、重大な「**加害者**」になる場合だってあるのだ。

その**損害賠償の請求額は、9,000万円を超える自転車による事故も発生**している。

交通事故は、被害者の人生も、加害者の人生も、狂わすことになりかねない。

償っても、償っても、償いきれないことにもなりかねないのだ。

自分だけは事故に遭わない、自分だけは事故を起こさない、というのは「**油断**」だ。

これからの季節、「**夕暮れ時**」特に「**日没までの薄暮の時間帯**」は、特に危険だ。

今週の**日没（日の入り）時刻は、17時40分前後**とのこと。ちょうど**下校時刻**と重なる。

慣れた道でも油断をせず、以下の内容を必ず守って、交通事故を未然に防いでほしい。

君たちには、決して「**被害者**」にも、「**加害者**」にも、なってほしくない。

- ① 「**スピードを出し過ぎない**」こと。※「思いやり」「ゆとり」の「ゆっくり走行」を！
 - ② 「**一時停止・安全確認（左右・前後）を厳守する**」こと。
 - ③ 「**横断歩道や通りを渡るときには、必ず自転車を引いて渡る**」こと。
 - ④ 「**ヘルメットを着用する**」こと。※頭部を守ることが「命を守るカギ」だ！
 - ⑤ 「**夕方（薄暮の時間帯も危険）は、早めに点灯する**」こと。※相手に見えるのが大事。
 - ⑥ 「**反射材を身につけて、相手から見つけやすくする**」こと。※相手に見えるのが大事。
（ヘルメット・衣服・カバン・通学用外履きなどに貼っておくと効果的だよ。）
- 「自分の身は、自分で守る。」「油断すれば、危険が迫る。」ということを忘れるな！！**